

天栄から日本一を目指す米づくり

ふくしま
はじめ人びと

File No.16



力を合わせて天栄米の栽培に取り組む会員たち



天栄米栽培研究会 会長

おかべ まさゆき
岡部 政行さん(天栄村)

<プロフィール>

米農家を始めて約50年。平成12年、天栄村の農業の担い手として認定農業者に認定された。天栄村と農家が共同で発足した天栄米栽培研究会の会長を務めている。

天栄米の実力

「天栄村の呼びかけで平成20年に天栄米栽培研究会が発足しました。現在は、28名の農家が一丸となつて日本一おいしい米をつくることを目標に、漢方環境農法米などさまざまな栽培に取り組んでいます。会が発足した翌年、国内最大のお米のコンクールである『米・食味分析鑑定コンクール国際大会』の総合部門で金賞を受賞したんです。それまでも、自分たちの米はおいしいと思っていますが、実際どれくらいおいしいのか知らなかつたんです。コンクールにして初めて天栄米の実力を知りました。以来、8年連続で金賞を受賞しているんですよ。第15回大会では、5回連続で金賞を受賞している団体に

たが、実際にどれくらいおいしいのか

知らなかつたんです。コンクールに出た。これまで、自分たちの米はおいしいと思っていますが、実際どれくらいおいしいのか

天栄村の呼びかけで平成20年に天栄米栽培研究会が発足しました。現在は、28名の農家が一丸となつて日本一おいしい米をつくることを目標に、漢方環境農法米などさまざま

贈られるゴールドプレミアムライス
AAAを受賞しました

「メンバーがそれぞれ天栄米のブランド化に真剣に取り組むことはもちろん、役場と農家で月1回会議を開き、米づくりについて話し合つたり情報交換しています。そのおかげで、行政と生産者が同じ目標に向かって取り組むことができ、受賞にながつてているんだと思います」

役場と連携した活動

震災後の影響について伺いました。

「役場の応援や細やかな情報はとても助かりました。当時は、果たして米づくりができるのか?という不安が生産者全員にありました。しかし役場が、放射能汚染ゼロを目指して検査機器を整備したり汚染を防ぐ資材の研究・散布をしたりと、とにかく行動が早かつたんです。だから、4月の段階で前向きに取り組もうとする農家は多かつたと思します。その後も役場と一緒に積極的に首都圏へ特産物のPRを行くなど、消費者に安全でおいしいお米を伝える活動を続けています。また、記録用に撮影していた動画がドキュメンタリー映画『天に栄える村』となつて放映され、多くの方に実情を知つてもらういい



＼ぼくの＼＼わたしの＼＼

チャレンジ自慢

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

県立耶麻農業高等学校 産業技術科2年生(喜多方市)

耶麻農業高等学校では、米3.3ヘクタール、そば4ヘクタールなど本格的な農業学習に取り組んでいます。今回は授業の一環で、作物選択の皆さんが晴天の下、稻刈りを行いました。



右から3番目:安田校長先生／右から2番目:小滝 美紗都さん／右上:蒲生 理央さん



農業を学ぶことの楽しさ

祖父がお米を作っていて小学生の頃から手伝っていました。中学生のときお米や野菜を作る楽しさを知り、この道に進もうと決めました。食物を育てるためには多くのことを学ぶ必要がありますが、とても楽しいです。将来は作った食物をもっとたくさんの方々に食べてもらいたいと思っています。(小滝さん)

僕も実家が農家で小さいときから手伝っていました。自分で育てたものを収穫できるととてもうれしいです。でも、草刈りと早起きは慣れるまで大変ですね(笑)。(蒲生さん)

地域との交流

今年のお米もいい出来で、アンテナショップや地元のイベントで販売するとすぐ売り切れてしまいます。生徒が自ら学び大切に育てたお米や野菜を、地域の方々に提供して喜んでいただけるのは大変励みになりますね。農業を学ぶだけでなく、農業を通して地域との交流を深めていきたいです。(安田校長先生)



ふくしま HOT ニュース

ふくしまの旬を
ピックアップ!



祝優勝! 富岡高校・ふたば未来学園高校

8月に行われた全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会において、男子シングルス、女子シングルス、女子団体で見事優勝!

富岡高校は今年度をもって休校となるため、来年度はふたば未来学園高校単独で優勝を狙います。



たわわに実った稲穂を見ると苦労も喜びに変わる



今年の新米も
自信を持って
おすすめできる
いい出来

役場も農家と
心を一つにして
天栄米をPR

きつかけになりました。震災後、研究会では消費者と生産者をつなぐ『田んぼのパートナー制度』を実施し、地域おこし協力隊の力も借りながら、県外の団体・個人と農作業や稻刈り体験を通して交流を深めているんですよ」

もっとおいしい米を!

「天栄米は甘みがあり香りも良くて、冷めてもおいしいです。リピーターも多く、一度食べれば納得してもらえると思います。今後も農業体験などで消費者と交流を図ることも



に天栄米の魅力を発信し続け、金賞受賞はもちろんのこと、ブランド化にさらに力を入れていきたいですね。研究会のチャレンジは、これからも続きます!」

真剣なまなざしで米の出来を確かめる岡部さん

